

登録番号	演題名	演題番号	セッション名	セッションテーマ	発表日	セッション時間	会場名
1001	精神医学が扱う「心」とは何か？	O7-1	一般演題7	心と診断	10月21日（土）	11:10～12:00	B会場
1002	中動的自己概念の展開	W6-1	ワークショップ6	中動態	10月21日（土）	10:20～11:10	B会場
1003	うつにみられる過去志向性：後悔について	O3-1	一般演題3	症状と診断	10月20日（金）	10:25～11:40	C会場
1004	思考形式の障害あるいは注意・集中の障害と、それでは説明困難な言動	O3-2	一般演題3	症状と診断	10月20日（金）	10:25～11:40	C会場
1005	語られなかった緊張病 ー進化精神医学の視点より	O8-2	一般演題8	統合失調症：成因論	10月21日（土）	15:45～17:00	B会場
1006	神経症の不安、ASDの不安ー主体の生成という視点から	O2-1	一般演題2	神経発達症を再考する	10月20日（金）	9:30～10:20	A会場
1009	臨床哲学「あいだの気」療法と科学的精神医学・操作的診断基準	W5-2	ワークショップ5	木村敏の「あいだ」	10月20日（金）	17:40～18:30	B会場
1011	単純型統合失調症と診断することで、理解と対応がはっきりしてきた、措置入院患者の精神病理学的な考察	O1-2	一般演題1	統合失調症：症例	10月19日（木）	16:05～17:20	B会場
1012	若手・専攻医に対する精神病理学教育の方法論を考える	W2-3	ワークショップ2	精神病理学のこれから	10月20日（金）	11:15～12:30	B会場
1013	精神病理学と解釈学	W3-2	ワークショップ3	Jaspersと了解/理解	10月20日（金）	16:00～16:50	B会場
1014	内因性精神病における長期経過研究の「経過の精神病理学」への寄与について	O3-3	一般演題3	症状と診断	10月20日（金）	10:25～11:40	C会場
1015	いじめられっ子の中井久夫先生 - その精神療法の特質の病跡学的考察 -	W1-1	ワークショップ1	中井久夫の臨床	10月20日（金）	10:25～11:15	B会場
1016	21世紀における精神病理学の可能性	W2-1	ワークショップ2	精神病理学のこれから	10月20日（金）	11:15～12:30	B会場
1017	双極性障害の顕現と潜伏ーゲシュタルト変換するADHDー	O2-2	一般演題2	神経発達症を再考する	10月20日（金）	9:30～10:20	A会場
1018	どのような事態が“統合失調症性”なのだろうか	O8-3	一般演題8	統合失調症：成因論	10月21日（土）	15:45～17:00	B会場
1019	ナルシズムの病理と異邦人であること ー抑うつ、不安を呈する外国人事例をもとにー	O6-2	一般演題6	現代社会と症例	10月20日（金）	16:55～18:10	C会場
1020	病歴記録の学術的価値に関する考察 ー統合失調症に罹患した名家当主の生涯を巡ってー	O14-1	一般演題14	病歴学	10月21日（土）	17:00～17:50	C会場
1021	分裂気質（クレッチマー）と敏感関係妄想と自閉症スペクトラム	O10-1	一般演題10	気質と特性	10月21日（土）	9:30～10:20	C会場
1022	『臨床精神病理学』の二源泉 ーカルト・シュナイダーをビルンパウム、シエーラーから眺める景色-	W4-1	ワークショップ4	Schneiderと構造分析	10月20日（金）	16:50～17:40	B会場
1023	構造分析(Birnbaum)の有用性を検討する	W4-2	ワークショップ4	Schneiderと構造分析	10月20日（金）	16:50～17:40	B会場
1024	強迫症と統合失調症の併存例の発症契機と洞察に関する考察	O4-1	一般演題4	強迫症	10月20日（金）	11:40～12:30	C会場
1025	頭皮・頭髮の異常感覚を主訴とするセネストパチー	O5-1	一般演題5	妄想の周辺	10月20日（金）	16:05～16:55	C会場
1026	チャイコフスキーの人生と楽曲にみる「懐かしさ」の病理	O14-2	一般演題14	病歴学	10月21日（土）	17:00～17:50	C会場
1027	ヤスパースの「了解概念」と「現象学的還元」	W3-1	ワークショップ3	Jaspersと了解/理解	10月20日（金）	16:00～16:50	B会場
1028	治療関係におけるparticipantな相互作用について	O11-1	一般演題11	治療関係	10月21日（土）	10:20～11:10	C会場
1029	加害者家族というトラウマを抱えた男性統合失調症患者に風景構成法を施行した一例	O1-1	一般演題1	統合失調症：症例	10月19日（木）	16:05～17:20	B会場
1030	生命と自然から愛と歴史へー木村敏の「あいだ」概念について	W5-1	ワークショップ5	木村敏の「あいだ」	10月20日（金）	17:40～18:30	B会場
1031	中井久夫研究（1）	W1-2	ワークショップ1	中井久夫の臨床	10月20日（金）	10:25～11:15	B会場
1032	精神科臨床における家族システムの考察	O13-1	一般演題13	家族と精神病理	10月21日（土）	15:45～17:00	C会場
1033	症例報告：アンドロイドを名乗る患者の治療から、統合失調症治療の理論的基礎を考察する	O1-3	一般演題1	統合失調症：症例	10月19日（木）	16:05～17:20	B会場
1034	世界と自己の構成について ー中動的プロセスの観点からの考察ー	W6-2	ワークショップ6	中動態	10月21日（土）	10:20～11:10	B会場
1035	器質力動論に照らしてECTを考える試論	O12-2	一般演題12	精神病理とECT	10月21日（土）	11:10～12:00	C会場

登録番号	演題名	演題番号	セッション名	セッションテーマ	発表日	セッション時間	会場名
1036	中井久夫における強迫症の試論的検討	04-2	一般演題4	強迫症	10月20日（金）	11:40～12:30	C会場
1037	François TosquellesによるHeideggerに依拠した主体生成論	08-1	一般演題8	統合失調症：成因論	10月21日（土）	15:45～17:00	B会場
1038	考えの違いを尊重する関係性の治療的意義	011-2	一般演題11	治療関係	10月21日（土）	10:20～11:10	C会場
1039	心的外傷（に起因する病的状態）を精神病理学的に理解するための試み	013-3	一般演題13	家族と精神病理	10月21日（土）	15:45～17:00	C会場
1040	目的反応の歴史的背景と今後の展望	09-2	一般演題9	ヒステリー論再考	10月21日（土）	17:00～17:50	B会場
1041	シャルル・ラセグとヒステリー性拒食 - 精神医学における生氣論の遺産	09-1	一般演題9	ヒステリー論再考	10月21日（土）	17:00～17:50	B会場
1042	自己臭症再訪—日本の研究の軌跡と国際的動向—	05-2	一般演題5	妄想の周辺	10月20日（金）	16:05～16:55	C会場
1044	「ガチャ」による課金が問題となったゲーム行動症の青年例	06-1	一般演題6	現代社会と症例	10月20日（金）	16:55～18:10	C会場
1045	中脳黒質変性所見を示す高齢期うつ病症例の臨床的分類と修正型電気けいれん療法の可能性について	012-1	一般演題12	精神病理とECT	10月21日（土）	11:10～12:00	C会場
1046	PTMF時代の精神病理学に期待されるもの	W2-2	ワークショップ2	精神病理学のこれから	10月20日（金）	11:15～12:30	B会場
1047	COVID-19感染をストレスとして精神科疾患を発症した患者の臨床的特徴	06-3	一般演題6	現代社会と症例	10月20日（金）	16:55～18:10	C会場
1048	夫婦におけるピュシスとノモスの精神病理	013-2	一般演題13	家族と精神病理	10月21日（土）	15:45～17:00	C会場
1049	幾多の相乗的不遇を抱えた女性の精神科診断 ～精神医学ができること、人はどうやって育つのか～	07-2	一般演題7	心と診断	10月21日（土）	11:10～12:00	B会場
1050	てんかんと宗教：「説教臭さ」の病理	010-2	一般演題10	気質と特性	10月21日（土）	9:30～10:20	C会場